

ヘビの脅威うろこで察知

名大 視覚反応、サル3頭実験

名古屋大学の川合伸幸教授らは、霊長類がヘビを脅威と感じる主な要因が「うろこ」にあることを明らかにした。ヘビを知らないサル

名古屋大学の川合伸幸教授らは、霊長類がヘビを脅威と感じる主な要因が「うろこ」にあることを明らかにした。ヘビを知らないサル

ルがヘビの写真をイモリより早く発見し、うろこを貼り付けたイモリも同様に早く認識することを確認した。霊長類が進化の過程でヘビのうろこに特化した視覚系を発達させた可能性があることが分かった。霊長類が脅威を察知する仕組みの解明につながる」と期待される。

ヘビを見たことがないサル3頭を対象に、写真を用いた実験を实

施。8枚のイモリと1枚のヘビからヘビを見つける速度を測定したところ、3頭すべてがイモリよりヘビを見つける方が早かった。イモリの写真にヘビのうろこを画像処理で付加した写真を使って再度見つける速度を比較。2頭はヘビと同程度、1頭はヘビより早くうろこ付きイモリを発見した。霊長類の視覚反応が形状や動きではな

く、うろこに敏感であることが分かった。霊長類のヘビへの脅威反応が生得的であることは知られていたが、具体的にどの特徴が影響するかは分かっていなかった。これまでの研究では、比較実験をする場合でも統制が不十分な環境で実施され、ヘビを知らない動物を対象にした精密な方法は使われていなかった。